

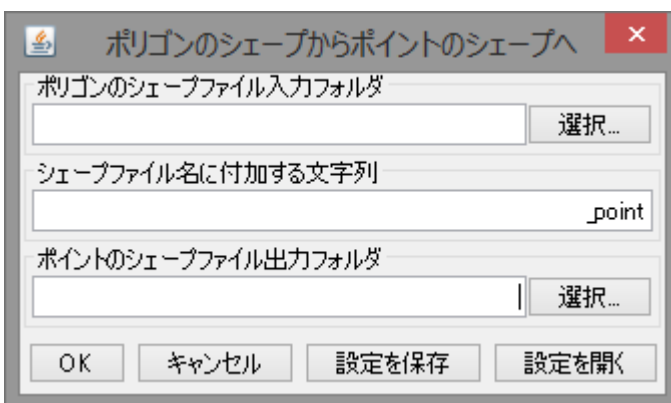
1. ポリゴンのシェープからポイントのシェープへ

メニュー[SHP から SHP]-[ポリゴンのシェープからポイントのシェープへ]を追加しました。

ポリゴンのシェープについて、ポリゴンの中心付近の座標を計算し、ポイントのシェープファイルを作成します。



上図は建物のポリゴンについて、発生したポイントのシェープを重ねて表示した例です。



ポリゴンのシェープファイル入力フォルダ

ポリゴンのシェープファイルのフォルダを指定します。指定されたフォルダの.shp について、シェープ・タイプが「Polygon」「PolygonZ」「PolygonM」を変換します。

シェープファイル名に付加する文字列

出力するポイントのシェープファイルに付加する文字列です。例えば、元のポリゴンのシェープファイルが「test.shp」

で、付加する文字列が「_point」の場合、作成するポイントのシェープファイル名は「test_point.shp」となります。同じファイル名で作成する場合は空白にしてください。その際には、入力と出力フォルダを別にしてください。

ポイントのシェープファイル出力フォルダ

ポイントのシェープファイルを出力するフォルダを指定します。入力のポリゴンのシェープ・タイプと出力するポイントのシェープ・タイプは次のように対応します。

ポリゴンのシェープ・タイプ	ポイントのシェープ・タイプ
Polygon	MultiPoint
PolygonZ	MultiPointZ
PolygonM	MultiPointM

作成するポイントのシェープファイルのフィールドの内容は、元のポリゴンと同じです。

ポリゴンのシェープファイルについて、ひとつのレコードに複数の外周ポリゴンがある場合、それぞれの外周ポリゴンに対応するポイントを出力します。



ポリゴンのレコードについて、複数の外周がある場合、確認リストにポイントを一覧表示します。それぞれの外周の内側に点ができていることをか



ポリゴンのレコードについて、内周がある場合、チェックリストのポイントをリストアップします。内周の内側に点がないことを確認するためのリストアップです。